

スペイン

2021年11月11日

海外調査部・マドリッド事務所

2020年のスペインの実質GDP成長率は、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な移動・活動制限の影響を受け、マイナス10.8%に落ち込んだ。貿易は輸出入ともに減少した。一方、直接投資は再生可能エネルギー分野の投資加速に加え、打撃を受けた航空・衣料などによる財務強化のための資本移動もあり対内・対外ともに前年を上回った。日西投資もグリーン・デジタル関連分野での投資が本格化した。

■輸出は自動車と石油精製品が大幅減

スペイン税関によると、2020年の貿易は、輸出が前年比10.2%減の2,611億7,500万ユーロ、輸入は14.8%減の2,745億9,800万ユーロだった。いずれも過去最高を記録した前年から大幅に減少した。輸出は新型コロナ感染拡大当初に大幅減となったが、9月以降は弱含みながらも前年の水準をほぼ回復した。輸入は、経済活動の収縮と景気悪化で年間を通じて低調だった。貿易赤字は134億2,300万ユーロだった。主にエネルギー資源の輸入減により、赤字額は前年から181億2,100万ユーロ縮小した。

輸出を品目別にみると、最大品目の資本財（自動車を除く）（構成比19.8%）は前年比12.6%減と低調だった。中でも航空機（1.7%）が減産や納期延期により27.7%減少した。自動車（14.8%）も操業停止や需要回復の遅れを受け12.7%減少した。乗用車（10.6%）は10.1%減、自動車部品（3.9%）も20.5%減となった。化学品（15.5%）は3.6%減にとどまった。化学品の3割を占める医薬品（4.8%）が5.7%増で過去最高を記録したことが貢献した。消費財（9.5%）は、世界的な店舗営業停止による衣料関係大手の輸出縮小が響き、15.4%減と大幅に減少した。一方、生産活動が停止されなかった食料品・飲料・たばこ（19.6%）は4.4%増となった。特に、豚肉（2.2%）は23.5%増の57億ユーロ、数量でも24.0%増の213万トンと過去最高を記録した。最大輸出先の中国国内でのアフリカ豚熱による供給不足で、同国向けが金額ベースで2.5倍となった。

輸出を国・地域別でみると、EU（構成比60.5%）は自動車や石油精製品が低調で前年比8.2%減となった。EU域外（39.5%）は13.1%減だった。EU離脱に伴いEU域外で最大輸出先となった英国（6.5%）は14.5%減と、他の欧州主要国以上に不振だった。同国内での厳格な行動制限による景気後退や「合意なき離脱」に備えた前年の輸出増からの反動減など

表1 スペインの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
資本財 (自動車を除く)	59,081	51,642	19.8	△ 12.6	68,712	62,085	22.6	△ 9.6
食料品	49,162	51,304	19.6	4.4	35,799	33,967	12.4	△ 5.1
化学品	42,107	40,595	15.5	△ 3.6	51,156	49,430	18.0	△ 3.4
自動車	44,152	38,524	14.8	△ 12.7	40,146	30,405	11.1	△ 24.3
中間財	29,459	26,462	10.1	△ 10.2	23,055	19,143	7.0	△ 17.0
消費財	29,468	24,941	9.5	△ 15.4	38,816	34,615	12.6	△ 10.8
鉱物・エネルギー	21,229	12,501	4.8	△ 41.1	44,682	27,029	9.8	△ 39.5
原材料	7,137	6,058	2.3	△ 15.1	10,058	8,492	3.1	△ 15.6
耐久消費財	4,619	4,471	1.7	△ 3.2	8,540	8,082	2.9	△ 5.4
合計 (その他を含む)	290,893	261,175	100.0	△ 10.2	322,437	274,598	100.0	△ 14.8

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
[出所] スペイン税関

が響いた。最大品目の自動車は台数ベースで26.1%減少した。欧州域外で最大輸出先の米国(4.7%)も、石油精製品と自動車的大幅減により11.1%減少した。スペイン産オリーブ油にはトランプ政権時に発動された対EU報復関税(容器入りに対して25%)が年間を通じ適用されたが、数量ベースで21.8%増加し過去最高の16万トンに達した。メーカーが一部の高付加価値品を除き、チュニジアなどから輸入した他産オリーブ油を容器詰めして再輸出して関税引き上げを回避したと報じられた。アジア大洋州(7.3%)は4.7%減と他地域と比較して減少率が低かった。主要品目のうち女性用衣服やワイン、石油精製品はそれぞれ20.0%、16.8%、37.0%の減少だった一方、中国の豚肉輸入の急拡大や日豪向けの乗用車の好調が相殺した。

表2 スペインの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	172,033	157,934	60.5	△ 8.2	162,095	142,291	51.8	△ 12.2
ユーロ圏	150,359	138,829	53.2	△ 7.7	137,906	120,418	43.9	△ 12.7
フランス	44,146	42,177	16.1	△ 4.5	33,519	28,522	10.4	△ 14.9
ドイツ	31,231	29,567	11.3	△ 5.3	39,865	34,148	12.4	△ 14.3
イタリア	23,436	20,472	7.8	△ 12.6	20,725	17,803	6.5	△ 14.1
ポルトガル	22,151	19,791	7.6	△ 10.7	11,476	10,746	3.9	△ 6.4
非ユーロ圏	18,803	19,105	7.3	1.6	20,472	21,873	8.0	6.8
ポーランド	6,192	5,991	2.3	△ 3.2	5,816	5,609	2.0	△ 3.6
英国	19,890	17,014	6.5	△ 14.5	11,711	9,366	3.4	△ 20.0
スイス	5,020	5,110	2.0	1.8	3,671	3,837	1.4	4.5
トルコ	4,456	4,261	1.6	△ 4.4	7,565	6,314	2.3	△ 16.5
ロシア	2,050	1,874	0.7	△ 8.6	3,476	2,572	0.9	△ 26.0
アジア大洋州	20,151	19,196	7.3	△ 4.7	52,126	47,821	17.4	△ 8.3
中国	6,800	8,169	3.1	20.1	29,143	29,333	10.7	0.7
ASEAN	3,803	2,793	1.1	△ 26.6	9,574	8,905	3.0	△ 13.3
日本	2,729	2,518	1.0	△ 7.7	4,359	2,909	1.1	△ 33.3
韓国	2,249	1,528	0.6	△ 32.1	3,123	2,395	0.9	△ 23.3
インド	1,334	1,092	0.4	△ 18.2	4,234	3,298	1.2	△ 22.1
アフリカ	18,572	15,615	6.0	△ 15.9	27,297	19,013	6.9	△ 30.3
モロッコ	8,454	7,381	2.8	△ 12.7	6,962	6,363	2.3	△ 8.6
アルジェリア	2,906	1,916	0.7	△ 34.1	3,852	2,511	0.9	△ 34.8
北米	15,941	14,132	5.4	△ 11.3	17,035	15,390	5.6	△ 9.7
米国	13,716	12,196	4.7	△ 11.1	15,436	14,052	5.1	△ 9.0
中南米	15,333	11,790	4.5	△ 23.1	16,691	13,752	5.0	△ 17.6
メキシコ	4,196	3,216	1.2	△ 23.4	4,608	3,459	1.3	△ 24.9
ブラジル	2,590	2,258	0.9	△ 12.8	3,821	3,515	1.3	△ 8.0
中東	7,436	6,704	2.6	△ 9.8	8,763	4,877	1.8	△ 44.3
湾岸協力会議 (GCC) 諸国	4,688	4,276	1.6	△ 8.8	5,933	3,169	1.2	△ 46.6
サウジアラビア	1,816	1,735	0.7	△ 4.5	4,286	2,292	0.8	△ 46.5
合計 (その他を含む)	290,893	261,175	100.0	△ 10.2	322,437	274,598	100.0	△ 14.8

[注] ① EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

② アジア大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港・台湾を加えた合計値。

[出所] スペイン税関

■輸入は自動車大幅減、マスクやノートパソコンが増加

輸入は、全ての品目で減少した。特に鉱物・エネルギー(構成比9.8%)は前年比39.5%減となり、うち最大品目の原油は41.0%減(数量で17.3%減)と大幅に減少した。自動車(11.1%)は24.3%減、うち完成車(5.0%)は新車登録台数の激減(32.3%減)を反映し31.5%減だった。

輸入を国・地域別にみると、EU(構成比51.8%)は自動車や資本財(自動車を除く)などの減少により、前年比12.2%減だった。EU域外で最大の輸入相手国の中国(10.7%)は、マスクが20倍で最大品目となったほか、防護服も11倍に増加、ノートパソコンも29.6%増と、新型コロナ下での需要増を反映し、全体で0.7%増となった。韓国(0.9%)は23.3%減だった。自動車や資本財が3~4割減の一方、迅速検査・PCR検査用品が4.3倍に増加して主要品目となった。

2021年に入ってからには新型コロナが小康状態となり、経済活動の平常化に向け動きが加速した。1~4月の輸出は、前年同期比16.9%増となり周辺国を上回る回復ぶり、この期間としては過去最高だった。輸入も同10.3%増と力強く回復した。

■対内投資は新型コロナ禍でも活発

産業・商業・観光省によると、2020年の対内直接投資(届け出ベース、ネット、フロー)は前年比3.6%増の177億9,300万ユーロとなった。移動制限でビジネス活動が停滞したうえ、株安に乗じた敵対的買収防止のために一定規模の投資案件の大半に事前審査手続きが適用されたため、多くの買収案件

が第4四半期に集中した。業種別にみると、流通・小売・卸売り（構成比29.7%）と金融・銀行・保険（28.6%）

で6割近くを占めた。前年に発表された大型案件や、持株会社の資本移動が反映されたことによる。運輸・通信（25.5%）は、2020年の最大案件である英米大手3ファンドによる通信キャリア・マスマビルの株式公開買付けや、業績が悪化した航空会社による増資で前年比2.5倍に増加した。近年好調だったホテル投資は観光業の不況の影響で、1997年以来初の引き揚げ超過になった。

一方、電力分野は太陽光発電などへの投資が前年から2.8倍に拡大。特に脱炭素化を急ぐ石油大手による再生可能エネルギー分野での投資が活発となった。仏トタル・エナジーズは2020年2月と9月に地場の太陽光発電開発企業から計5.3ギガワット（GW）のプロジェクトを買収、5月にポルトガル電力公社（EDP）からスペインの電力ガス事業を取得した。ポルトガルのガルブも9月にスペインのインフラ企業ACSの太陽光発電事業の株式75.01%を取得し、スペインでの再エネ電力開発の

足がかりを得た。電力会社では、ポルトガル電力公社（EDP）が12月、中堅ビエスゴを買収した。また中国長江三峡集団が12月、再エネ開発企業のエクセリオからの太陽光発電所の買収を発表した。スタートアップ投資では、ドイツの料理宅配アプリ「デリバリーヒーロー」が9月にスペインの同業「グロボ」の中南米事業買収を発表したほか、スウェーデンの投資会社EQTが9月、南欧最大規模の不動産情報プラットフォーム「イデアリスタ」を13億ユーロで買収することで合意したと発表した。また、リアルタイム宅配アプリ「パック」は11月に英投資会社から約4,500万ユーロの出資を得た。

国・地域別では、ルクセンブルクが前年同様最大となったが、大部分はEU域外国からの迂回投資とみられる。中国・香港からの投資は7.2倍に増加した。国有建設の中国鉄建と中国交建が第2四半期に子会社を通じて、いずれも中南米で事業展開するスペイン建設企業を買収した。

表3 スペインの国・地域別対内・対外直接投資<届け出ベース、ネット、フロー>

(単位:100万ユーロ、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2019年	2020年			2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	13,075	5,022	28.2	△ 61.6	△ 178	10,250	40.1	-
ユーロ圏	12,848	4,777	26.8	△ 62.8	1,207	9,373	36.6	676.5
ルクセンブルク	5,300	5,546	31.2	4.6	△ 161	4,464	17.5	-
フランス	2,523	1,301	7.3	△ 48.5	3,053	50	0.2	△ 98.4
ドイツ	667	1,140	6.4	71.1	499	1,427	5.6	185.8
オランダ	3,310	△ 4,020	-	-	△ 2,718	1,562	6.1	-
非ユーロ圏	227	245	1.4	7.7	△ 1,386	877	3.4	-
スイス	810	3,866	21.7	377.1	421	15	0.1	△ 96.4
英国	2,022	2,872	16.1	42.0	△ 4,851	250	1.0	-
中南米	207	4,644	26.1	2143.8	4,127	9,988	39.0	142.0
メキシコ	1,117	368	2.1	△ 67.0	1,111	823	3.2	△ 26.0
ブラジル	△ 343	9	-	-	△ 116	4,662	18.2	-
アジア大洋州	542	1,852	10.4	241.7	691	1,637	6.4	136.7
香港	52	634	3.6	1113.4	64	△ 6	-	-
日本	161	631	3.5	291.9	3	16	0.1	460.7
中国	83	342	1.9	310.7	144	1,813	7.1	1155.5
アフリカ	85	12	0.1	△ 85.3	571	80	0.3	△ 86.0
モロッコ	2	2	0.0	△ 23.8	475	70	0.3	△ 85.2
北米	6	△ 300	-	-	2,589	3,263	12.8	26.1
カナダ	28	198	1.1	595.1	376	△ 37	-	-
米国	△ 23	△ 498	-	-	2,212	3,300	12.9	49.2
中東	304	△ 339	-	-	550	46	0.2	△ 91.7
アラブ首長国連邦	255	△ 358	-	-	37	9	0.0	△ 74.0
合計(その他含む)	17,181	17,793	100.0	3.6	3,996	25,577	100.0	540.1

[注] アジア大洋州は、ASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港、台湾を加えた合計値。
[出所] スペイン産業・商業・観光省

表4 スペインの業種別対内・対外直接投資<届け出ベース、ネット、フロー>

(単位:100万ユーロ、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2019年	2020年			2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
流通・小売・卸売り	1,265	5,278	29.7	317.2	△ 6,585	6,929	27.1	-
金融・銀行・保険	4,020	5,083	28.6	26.4	△ 282	8,400	32.8	-
運輸・通信	1,784	4,541	25.5	154.6	3,734	3,452	13.5	△ 7.6
不動産・企業向けサービス	4,126	1,759	9.9	△ 57.4	1,677	△ 17	-	-
建設	596	1,288	7.2	116.0	1,652	602	2.4	△ 63.6
電力・ガス・水道・環境	753	325	1.8	△ 56.8	1,745	4,227	16.5	142.3
農業・牧畜業・林業・漁業	451	236	1.3	△ 47.6	316	132	0.5	△ 58.3
ホテル・レストラン	484	94	0.5	△ 80.5	548	208	0.8	△ 62.1
鉱業	83	20	0.1	△ 76.3	1,105	1,434	5.6	29.8
製造業	2,584	△ 1,474	-	-	316	164	0.6	△ 48.0
食品	380	1,427	8.0	275.2	67	△ 810	-	-
製紙・出版	1,408	1,123	6.3	△ 20.2	636	△ 1,730	-	-
繊維・衣類	45	49	0.3	8.0	△ 122	△ 23	-	-
石油精製・化学・プラスチック	501	△ 406	-	-	△ 1,383	1,266	4.9	-
機械・自動車などその他の製造業	250	△ 3,667	-	-	1,118	1,462	5.7	30.7
合計(その他含む)	17,181	17,793	100.0	3.6	3,996	25,577	100.0	540.1

[出所] スペイン産業・商業・観光省

■ 対外投資は再エネ分野がさらに加速

2020年の対外直接投資（届け出ベース、ネット、フロー）は、前年比6.4倍の255億7,700万ユーロとなり、対内投資を大幅に上回った。業種別にみると、金融・銀行・保険（構成比32.8%）が前年の引き揚げ超過からプラスに転じた。再保険事業への資本移動が大部分を占めた。流通・小売・卸売り（27.1%）も前年の65億8,500万ユーロの引き揚げ超過からプラスに転じた。持株会社の資本移動のほか、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業店舗閉鎖を受け世界各地で業績が悪化した衣料関連企業が各拠点に対して行った資金供給が中心となったとみられる。電力・ガス・水道・環境分野は好調で2.4倍となった。特にイベルドロウラは積極的で、2020年にはフランスや英国で風力発電資産・プロジェクトを相次いで買収した。6月には豪風力発電開発企業を買収、9月には日本での洋上風力に参入、10月には米発電事業者PNMリソーシズの吸収合併、2021年3月にはブラジルの配電企業CEB-Dの買収を発表した。通信分野では移動体通信基地運営セルネックス・テレコムが11月、香港の複合企業、長江和記実業（CKハチソン）が欧州に保有する通信基地を100億ユーロで取得すると発表した。

国・地域別にみると、迂回国を除くグロスでは米国（構成比12.9%）が最大の投資先で、既述の電力案件のほか、製薬グリフォルスが10月、韓国のバイオ医薬品製造GCファーマによる北米での血漿分画製剤事業を買収した。中国では、グリフォルスが2020年3月に同業の上海RAASとの戦略的提携を実行し、株式交換により同社株式26.2%を取得するなど、製薬分野が伸び、統計開始（1993年）以来最高となった。

表5 スペインの主な対内直接投資案件（2020年～2021年7月）

＜M&A＞						
被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
通信	マスマビル	シンベン、KKR、プロビデンス	英国、米国	2020年11月	非公表	英投資会社シンベン、米投資会社のKKR、プロビデンスが通信マスマビルの買収を完了。
電力	ビエスゴ	ポルトガル電力公社（EDP）	ポルトガル	2020年12月	27億ユーロ	ポルトガル国営電力公社（EDP）が、スペイン北部で展開する電力中堅ビエスゴの株式75.1%、および再エネ・火力発電資産をオーストラリア投資銀行大手マッコーリー傘下のファンドから取得。
再エネ	エラワン・エナジー	オリックス	日本	2021年7月	非公表	欧州・米州で展開する再エネ事業者の株式80%取得を完了。同事業者は開発予定のプロジェクトも含め10GW超の再エネ資産を保有。
再エネ	エクセリオ	中国長江三峡集団	中国	2020年12月	非公表	中国国有電力が太陽光発電所13カ所（計500MW）を買収することを発表。
建設	アルデサ	中国鉄建	中国	2020年5月	2億5,000万ユーロ	中国国有インフラ建設会社が、中南米で展開するスペイン建設中堅の株式75%を取得することを発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表6 スペインの主な対外直接投資案件（2020年）

＜M&A＞						
買収企業		被買収企業（事業）		時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
イベルドロウラ	再エネ	PNMリソーシズ	米国	2020/10/1	非公表	再エネ大手イベルドロウラは、米事業会社（アバングリッド）を通じて、再エネ発電事業者を買収すると発表。
イベルドロウラ	再エネ	インフィジェン・エナジー	オーストラリア	2020/12/1	8億4,060万豪ドル	オーストラリアの風力発電開発企業を買収を完了。
イベルドロウラ	再エネ	アカシア・リニューアブルズ	日本	2020/9/1	非公表	豪投資銀行から日本の再エネ事業会社を買収することを発表。日本での洋上風力発電開発の足がかりにする。
グリフォルス	製薬	上海RAAS	中国	2020年3月	非公表	血液製剤のスペイン大手が、中国同業と戦略的提携を結び、株式交換を通じて同社の株式26.2%の取得を完了。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

■ 乗用車やレザー製品の対日輸出はむしろ増加

スペイン税関によると、対日貿易は輸出が前年比7.7%減の25億1,800万ユーロ、輸入が33.3%減の29億900万ユーロだった。対日赤字は3億9,100万ユーロと前年の約4分の1に縮小した。対日輸出を品目別にみると、輸出の3割強を占める食料品は7.1%減だった。最大品目の豚肉（構成比17.4%）は11.0%減の4億3,900万ユーロで、数量では19.9%減少して約11万トンとなった。日本での豚肉輸入の

全体的な減少などが影響した。 **表7 スペインの対日主要品目別輸出入〈通関ベース〉**

(単位：100万ユーロ、%)

乗用車（10.5%）は他国向けが減少する中、日本向けは新型モデルの市場投入などにより倍増した。革製バッグ・小物類（2.2%）も2020年後半の回復により19.7%増。新型コロナ下でも、高付加価値品の対日輸出は比較的好調だった。

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2019年		2020年		2019年		2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
豚肉	494	439	17.4	△ 11.0	乗用車	1,732	1,029	35.4	△ 40.6
医薬品	321	264	10.5	△ 17.7	自動二輪車	139	120	4.1	△ 13.4
乗用車	135	264	10.5	95.3	自動車部品	315	119	4.1	△ 62.1
オリーブ油	147	127	5.0	△ 13.6	医療機器	62	62	2.1	0.5
自動車部品	212	126	5.0	△ 40.7	航空機エンジン部品	90	62	2.1	△ 31.1
灰および残留物	142	88	3.5	△ 38.3	オートバイ・自転車部品	68	62	2.1	△ 9.3
ワイン	95	85	3.4	△ 10.3	集積回路	72	50	1.7	△ 30.0
革製バッグ・小物類	46	56	2.2	19.7	エアコン・空調機器	61	46	1.6	△ 24.9
複素環式化合物	56	51	2.0	△ 9.1	印刷機器	67	45	1.6	△ 33.1
女性用衣類	51	47	1.9	△ 7.7	医薬品	30	45	1.5	47.3
合計（その他含む）	2,729	2,518	100.0	△ 7.7	合計（その他含む）	4,359	2,909	100.0	△ 33.3

[出所] スペイン税関

日本からの輸入は、医療機器（構成比2.1%）と医薬品（1.5%）を除く全ての主要品目で前年を大幅に下回った。最大品目の乗用車（35.4%）は40.6%減と低調だった。電気自動車のみ8.4倍に増加したが、乗用車全体に占める割合は2.0%だった。

■日西投資もグリーン・デジタル関連分野の案件が目立つ

産業・商業・観光省によると、2020年の日本からの直接投資は前年比3.9倍の6億3,100万ユーロと好調だった。東和薬品が1月に完了したジェネリック医薬品事業の買収案件が3億2,000万ユーロと大きかった。デジタル関連の投資も活発で、5月に大和エネルギー・インフラは通信用光ファイバー設備提供を行うペンタコム株式の一部取得を発表したほか、11月には日立ハイテクが光通信・5G向けの光集積回路設計会社VLCフォトリクスを子会社化した。グリーン関連ではオリックスが12月にグローバル再エネ開発・運営エラワン・エネルギーの買収を発表した。

スペインの対日直接投資は前年比5.6倍の1,600万ユーロとなった。引き続きメガソーラー関連の投資があったほか、イベルドローラが9月、豪マッコーリー系投資会社から事業会社を買収し、今後大規模な洋上風力発電事業を手掛けると発表した。

直近の連携・協業事例でもグリーン関連の案件が増えつつある。トヨタが2021年4月に鉄道製造CAF主導の水素電車開発へ燃料電池システムを提供すると発表したほか、三菱パワーは同年5月にイベルドローラと再エネを活用した脱炭素化ソリューション提供での協業を発表した。

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：4,739万人（2021年）			
②面積：50万5,979km ²			
③1人当たりGDP：2万7,132米ドル （2020年、推計値）			
④実質GDP成長率（%）	2.4	2.0	△ 10.8
⑤消費者物価上昇率（%）	1.7	0.7	△ 0.3
⑥失業率（%）	15.3	14.1	15.5
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△ 29,681	△ 26,474	△ 9,084
⑧経常収支（100万ユーロ）	23,225	26,575	7,713
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	59,030	60,944	64,168
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	2,019,892	2,121,008	2,236,443
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.8468	0.8933	0.8755

〔注〕⑦：国際収支ベース（財・サービス）、⑦⑧⑩：暫定値
 〔出所〕①②④⑤⑥：スペイン国家統計局（INE）、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：スペイン銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp